

01 開催概要

高松市では、新しい総合計画の策定にあたって、次代を担う若い世代のみなさんの考えや価値観を共有し、8年後の高松市の姿を描いていただく機会として「たかまつ FLAT Meeting」を開催しました。内容についてご紹介します。

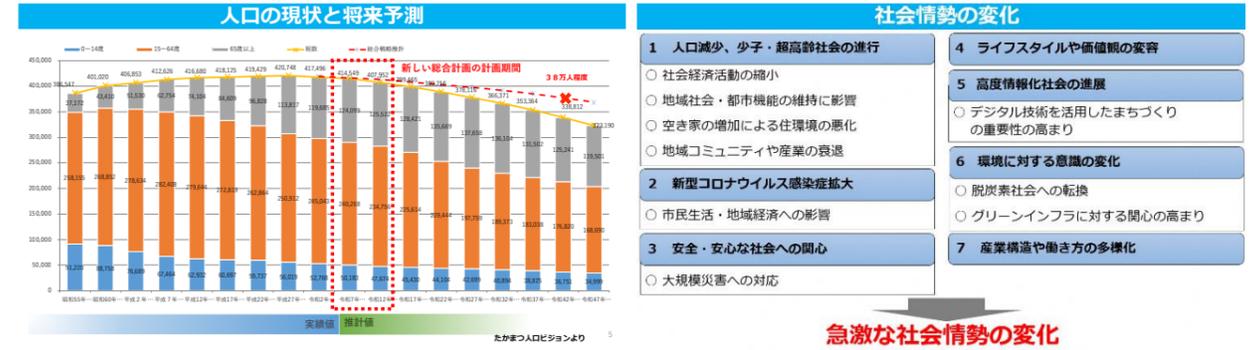


日時：2022年9月3日（土）
10:00～11:30
会場：オンライン会議
参加者数：23名
（高校生・大学生19名、社会人4名）

02 計画策定の考え方の紹介

高松市の未来の姿を考えるきっかけとするため、計画策定の基本的な考え方として計画／まちづくりの基本的な考え方を紹介しました。高松市で人口の現状と将来予測、社会情勢の変化ふまえたうえで、計画策定の基本的な考え方を紹介しました。

▼下記はその一例です。



03 未来の高松市の姿についてディスカッション

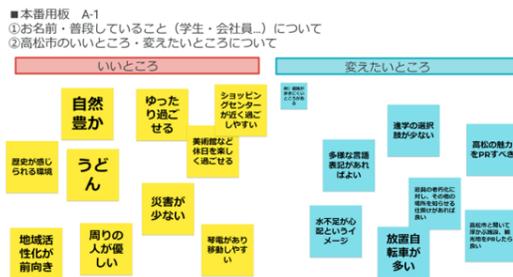
① 全班共通テーマ 「高松市のいいところ・ 変えたいところ」

全体説明のあと、班ごとにミーティングを行いました。まず、全班共通テーマ「高松市のいいところ・変えたいところ」を話し合いました。

「いいところ」では、「雨が少ない、外で活動しやすい。アートや建築物が素敵。」「自転車で行ける。」「海と山が近い」、といった意見が出ました。

「変えたいところ」としては「若者にとって遊ぶ所が少ない。」「高松駅からすぐ海が見えない。」「四国外とのつながりが弱い」といった意見が出ました。

▼ 全体共通テーマの議論内容(例)



② 各班テーマの議論

全班テーマのあとは、班ごとに異なるテーマで話し合いました。A-C班のいずれの班においても分野の偏りなく自由な発想とアイデアを話し合いがなされました。IT技術をテーマにしていたD班では、テーマに特化した具体的なアイデアの提案が多く出されました。各班テーマと議論の中で出された意見については以下の通りです。

各班テーマについてのボード (B班) ▶



各班テーマ	
A班	10年後も住みたい高松市にするために必要なことって何？ ①皆の10年後を想像してみよう ②住み続けるために望むことは何？
B班	人が集まり住みたいまちって、どんなまち？写真をヒントに、考えてみよう。
C班	もっと魅力的な高松市にするためにわたしたちにできることって何？ 全班共通テーマを振り返りながら、考えてみよう。
D班	IT技術を使って高松市のこんなところをもっとよくできるのでは？

04 参加者が感じたこと

参加した皆さんからは、「なかなか高松について話し合う機会がなかったので視野が広がった」、「同世代の人たちと気軽に意見交換できた」などの感想がありました。

(以下は一部抜粋)

- ✓ 高松市には魅力と課題がたくさんあるということに改めて気づくことが出来た。この魅力をまちづくりにどう活かしていくかや、課題をどのように解決していくかを自分なりに考え、高松市に貢献できればと思った。
- ✓ 普段、保育や子育てのことを中心に学んでいるため、他の皆さんの意見を聞いて、何か一つのことを解決するにはその他の多くのことを総合的に知る必要があるということに気づくことができた。
- ✓ 自分と同じように高松市のことや住みやすい街づくりについて熱く語るができる同年代の方々と出会うことができ、今思い描く10年後の高松市の姿が楽しみになった。
- ✓ やはり市街地は過ごしやすいが、それに行くまでの過程とか、市街地以外の私たちの生活が大変だと感じている人が多くて、共感した。
- ✓ 自分の住んでいる町を自分で活性化してみたいと感じた。